

「図書館を核としたひとづくり事業」

西ノ島町立中央公民館

1 西ノ島町の概要

(1) 地理的な環境

西ノ島は島根半島からの北東に約65km、日本海に浮かぶ隠岐諸島に属しており、本土からはフェリーの定期便で2時間ほどかかる。

(2) 人口

1,545世帯・人口2,842人であり、高齢化率はここ20年間で15%ほど上昇し、現在は44.9%である。

(3) 地域資源等

基幹産業は漁業、畜産業、観光業であり、近年は漁業従事者を中心にIターン者が人口に占める割合が高い。

2 事業の趣旨

本町における課題の一つに地域づくりに主体的に取り組む人材の減少があげられる。これまでも中央公民館を拠点に地域づくりを担う人づくりに向けた取組を続けてきたが、新たな動き出しが見いだせない状況であった。そこで、平成30年7月に開館するコミュニティ図書館を拠点として、図書館と協働するサポーターを結成することで、主体性を持った人づくりを進めていく。

3 具体的な取組内容

(1) 縁側カフェ

図書館の建設段階から、月に1回、図書館をテーマにした集まり(縁側カフェ)を開催した。図書館に関心のある住民は誰でも参加することができ、高校生から高齢者まで、幅広い世代が集まった。縁側カフェでは、毎回、様々なテーマが設定されており、そのテーマについて自由

に提案してもらったり、意見交換をしてもらったりした。

【テーマ例】

- ・図書館にあったらいい設備や備品
- ・図書館の開館をPRする方法
- ・開館イベントでやってみたいこと



(縁側カフェで談笑する高校生)

(2) 縁側カフェから実現したイベント

ア 備品整備・美化活動

公民館事業で発足したサークル(ハンドメイドクラブ)の発案で、図書館で使用する座布団カバーやカーテンを裁縫していただいた。また、キッチンスペースの清掃、備品の洗浄等を行ってもらった。

イ 本の引っ越し大作戦

公民館図書室の蔵書、約5,000冊を住民の手で図書館まで運んでいただいた。引っ越し当日には、幼児から高齢者まで約100人が集まった。



(引っ越し大作戦の様子)

ウ オープニングイベントの開催

縁側カフェに集まった方々の発案・主催の企画を実施してもらった。団体間の調整や大型機材の準備等については公民館スタッフが支援したが、基本的には住民主体の活動となった。

【イベント例】

- ・和太鼓披露（町内和太鼓グループ）
- ・音楽イベント（町内愛好者等）
- ・手芸品販売（島外有志）
- ・食品販売（高校生）
- ・民謡、踊り披露（小学生団体）



（小学生と愛好家による踊り）

エ クリスマスイルミネーション

12月を前に図書館の縁側エリアにクリスマスイルミネーションを飾ってはどうかというアイデアが出た。当初は図書館職員が中心に飾り付けを行っていたが、慣れない作業に手間取っていた。そこに、縁側カフェに参加していた住民が仲間とともに訪れ、自主的に手伝ってくださった。



（左：作業の様子 右：完成したものの）

4 評価と成果

「図書館」という明確なテーマと場所を設定したことで、毎月開催される「縁側カフェ」には、多世代にわたり、多数の参加者がいた。また、「やってみたい」「○○ならできるといった主体性に富んだ発言も多く見られた。

公民館としては、なるべく参加者の思いや考えが実現するように支援に努めた。結果として、縁側カフェの参加者たちに「やりたいと思ったことが実現できる。」という期待や「自分たちのやったことで人が喜んでくれる。」という達成感を持ってもらうことができた。

5 今後の課題と見通し

今年度の取組において、住民主体の動き出しを確認することができた。しかし、あくまでも「図書館」をテーマにしたものであり、活動目的や活動場所も「図書館」に限定されている。

今後、活動場所を町内全域に広げたり、活動目的も地域の活性化につながるものになったりするように新しい手立てが必要だと感じている。例えば、縁側カフェを図書館外で行なったり、縁側カフェで扱うテーマを図書館以外のことにしたりすることも考えられる。

いずれせよ、集い、動くことの楽しさを知る住民が増えつつあることは確かであり、この機運の高まりを大切しながら、少しずつ前進していきたい。

また、これまでは「公民館に集める」ことにばかり目を向けがちであったが、これからは「人が集まる所に向向いていく」という視点を持つことも必要になってくると考える。

（文責：西ノ島町中央公民館 三島 秀威）